



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成24年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 エコナックホールディングス株式会社

コード番号 3521 URL <http://www.econach.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥村英夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 菅原 勲

TEL 03-5712-2311

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	788	11.6	91	233.1	131	79.5	114	92.6
23年3月期第3四半期	706	31.1	27	—	73	—	59	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 133百万円 (99.8%) 23年3月期第3四半期 66百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	1.61	—
23年3月期第3四半期	0.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,479	3,448	71.8
23年3月期	4,079	3,321	75.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,213百万円 23年3月期 3,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	991	9.0	76	480.6	126	77.2	117	81.1	1.64

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー 社 （社名） ー 、 除外 ー 社 （社名） ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	71,177,466 株	23年3月期	71,177,466 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	31,482 株	23年3月期	30,682 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	71,146,322 株	23年3月期3Q	71,147,129 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関連する事項については、本日（平成24年2月9日）公表の「業績予想の修正（上方）」に関するお知らせをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から回復に向かいつつあるものの、欧州の金融不安を背景とした円高や株価の低迷などにより、先行きの不透明な状況が続きました。

このような状況の下、当社の不動産事業では、第2四半期に引き続き新宿区の駐車場並びに港区西麻布及び世田谷区代沢のテナントビルの安定した賃料収入を確保することができましたが、新たに販売用不動産を売却するには至りませんでした。その結果、売上高は前年同四半期に比べ31.2%減少し2億1千8百万円となりました。営業利益は、テナントビルの保証金償却などにより前年同四半期に比べ12.8%増加し1億5千6百万円となりました。

繊維事業では、盛夏物の綿レースの受注が好調だったことや春物の大口受注を得ることができたことなどにより、売上高は前年同四半期に比べ8.5%増加し3千9百万円、営業損失は前年同四半期に比べ6百万円縮小し3百万円となりました。

化粧品事業では、ドラッグストアやバラエティショップ向けのヒット商品などOEMの受注が増加した結果、売上高は前年同四半期に比べ8.5%増加し2億6千9百万円、営業利益は1千7百万円となりました（前年同四半期は営業損失2百万円）。

ゴルフ場事業では、当社グループが経営する伊豆スカイラインカントリー倶楽部において、コースのメンテナンスに力を入れ各種ゴルフコンペの企画も充実させ集客に努めました。その結果、平成23年4月は東日本大震災の影響を受け来場者数が伸び悩んだものの、5月以降の来場者数は回復することができ夏以降も堅調に推移し、売上高は2億6千1百万円、営業利益は3千2百万円となりました。

なお、ゴルフ場事業は平成22年10月1日に伊豆スカイラインカントリー株式会社を連結子会社化したため、前年同四半期連結累計期間との比較は省略しております。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は7億8千8百万円（前年同四半期比11.6%増）、営業利益は9千1百万円（前年同四半期比233.1%増）、経常利益は1億3千1百万円（前年同四半期比79.5%増）、四半期純利益は1億1千4百万円（前年同四半期比92.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産の増加などにより前連結会計年度末と比較して3億9千9百万円増加し、44億7千9百万円となりました。負債は、長期借入金の増加などにより前連結会計年度末と比較して2億7千2百万円増加し、10億3千万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末と比較して1億2千7百万円増加し、34億4千8百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億4千9百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末残高は7億3千6百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、1億2千7百万円（前年同四半期は1億2千8百万円の獲得）となりました。これは、たな卸資産や売上債権が増加したことにより資金が減少したものの、税金等調整前四半期純利益の計上や仕入債務の増加などにより資金を獲得したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、5億3千5百万円（前年同四半期は2百万円の使用）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、2億5千9百万円（前年同四半期は4千8百万円の獲得）となりました。これは、主に長期借入れによる収入によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表した平成24年3月期通期業績予想を上方修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正（上方）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	885,609	736,581
受取手形及び売掛金	100,914	123,807
商品及び製品	16,067	37,426
仕掛品	2,094	2,345
原材料及び貯蔵品	36,938	44,098
販売用不動産	299,624	301,961
短期貸付金	313,026	302,649
その他	13,905	11,606
貸倒引当金	△9,296	△10,600
流動資産合計	1,658,884	1,549,878
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	298,001	277,653
機械装置及び運搬具（純額）	32,701	32,762
工具、器具及び備品（純額）	10,618	9,267
コース勘定	362,224	362,224
土地	1,557,184	2,093,553
有形固定資産合計	2,260,730	2,775,461
無形固定資産		
のれん	21,064	17,554
借地権	129,024	129,024
電話加入権	2,086	2,086
ソフトウェア	102	531
無形固定資産合計	152,277	149,196
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
その他	14,113	12,864
貸倒引当金	△7,141	△8,701
投資その他の資産合計	7,571	4,763
固定資産合計	2,420,579	2,929,421
資産合計	4,079,463	4,479,299

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,035	36,728
短期借入金	35,000	—
1年内返済予定の長期借入金	5,004	25,044
未払法人税等	10,374	5,473
未払金	19,180	32,342
その他	48,814	63,519
流動負債合計	140,408	163,108
固定負債		
長期借入金	39,992	314,529
資産除去債務	2,665	2,711
再評価に係る繰延税金負債	53,545	47,120
長期預り金	488,628	474,441
その他	32,993	28,425
固定負債合計	617,825	867,228
負債合計	758,234	1,030,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,224,825	3,224,825
利益剰余金	△208,392	△93,887
自己株式	△2,022	△2,049
株主資本合計	3,014,411	3,128,888
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	78,665	85,091
その他の包括利益累計額合計	78,665	85,091
少数株主持分	228,152	234,983
純資産合計	3,321,229	3,448,963
負債純資産合計	4,079,463	4,479,299

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	706,434	788,733
売上原価	451,399	464,911
売上総利益	255,034	323,822
販売費及び一般管理費	227,627	232,521
営業利益	27,407	91,300
営業外収益		
受取利息	40,645	38,509
受取配当金	10	12
その他	12,240	9,338
営業外収益合計	52,896	47,860
営業外費用		
支払利息	155	2,309
有償見本費用	5,086	2,356
減価償却費	1,275	1,995
その他	548	1,038
営業外費用合計	7,065	7,699
経常利益	73,238	131,460
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,133	—
固定資産売却益	—	419
負ののれん発生益	—	1,218
特別利益合計	3,133	1,637
特別損失		
前期損益修正損	831	—
投資有価証券評価損	1,297	—
投資有価証券売却損	22	—
固定資産除却損	1,898	108
事務所移転費用	700	—
減損損失	840	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	186	—
特別損失合計	5,776	108
税金等調整前四半期純利益	70,596	132,989
法人税、住民税及び事業税	4,130	5,109
法人税等調整額	△340	826
法人税等合計	3,789	5,935
少数株主損益調整前四半期純利益	66,806	127,053
少数株主利益	7,342	12,549
四半期純利益	59,463	114,504

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	66,806	127,053
その他の包括利益		
土地再評価差額金	—	6,425
その他の包括利益合計	—	6,425
四半期包括利益	66,806	133,479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,463	120,930
少数株主に係る四半期包括利益	7,342	12,549

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	70,596	132,989
減価償却費	30,242	32,323
減損損失	840	—
のれん償却額	1,170	3,510
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11,918	2,863
受取利息及び受取配当金	△40,656	△38,521
長期前払費用償却額	3,718	2,479
有形固定資産除却損	618	108
無形固定資産除却損	1,279	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,297	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	22	—
負ののれん発生益	—	△1,218
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△419
売上債権の増減額 (△は増加)	35,993	△22,893
たな卸資産の増減額 (△は増加)	48,936	△31,108
仕入債務の増減額 (△は減少)	△25,310	14,693
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△5,816	6,592
長期預り金の増減額 (△は減少)	△5,859	△14,187
その他の資産の増減額 (△は増加)	1,853	1,117
その他の負債の増減額 (△は減少)	△19,529	7,905
小計	87,479	96,235
利息及び配当金の受取額	41,242	38,502
法人税等の支払額	△474	△7,412
法人税等の還付額	443	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	128,690	127,324
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,243	△541,154
有形固定資産の売却による収入	—	419
無形固定資産の取得による支出	—	△550
差入保証金の差入による支出	△300	△30
差入保証金の回収による収入	1,970	—
投資有価証券の売却による収入	430	—
子会社株式の取得による支出	—	△4,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△213,616	—
貸付けによる支出	△32,485	△500,000
貸付金の回収による収入	245,207	510,376
出資金の払込による支出	△30	—
その他	30	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,036	△535,438
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	—
短期借入金の返済による支出	△1,251	△35,000
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	—	△5,423
リース債務の返済による支出	—	△463
自己株式の取得による支出	△1	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	48,747	259,086
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	175,401	△149,027
現金及び現金同等物の期首残高	700,942	885,609
現金及び現金同等物の四半期末残高	876,344	736,581

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産 (千円)	繊維 (千円)	化粧品 (千円)	ゴルフ場 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	317,391	35,969	248,481	104,592	706,434
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	40	—	40
計	317,391	35,969	248,521	104,592	706,474
セグメント利益又は損失（△）	138,903	△9,355	△2,228	16,598	143,918

(注) 当社は平成22年10月1日に伊豆スカイラインカントリー株式会社を連結子会社化し、「ゴルフ場」を報告セグメントとして追加いたしました。そのため、「ゴルフ場」には平成22年10月1日から平成22年12月31日までの3ヶ月間の情報を記載しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	143,918
のれんの償却額	△1,170
全社費用（注）	△115,340
四半期連結損益計算書の営業利益	27,407

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

当第3四半期連結会計期間において伊豆スカイラインカントリー株式会社の株式を取得し、当社の子会社となったため、「ゴルフ場」セグメントにおいてのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの発生額は、当第3四半期連結会計期間において23,405千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産 (千円)	繊維 (千円)	化粧品 (千円)	ゴルフ場 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	218,335	39,041	269,693	261,662	788,733
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	272	—	272
計	218,335	39,041	269,966	261,662	789,006
セグメント利益又は損失（△）	156,686	△3,004	17,022	32,387	203,091

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、前連結会計年度の末日に比べ、報告セグメントの資産の金額は「不動産」で532,121千円増加しております。

これは主に、新宿区の駐車場において従来、土地及び駐車場設備を賃借して運営しておりましたが、これらの土地の一部を取得したことによるものであります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	203,091
のれんの償却額	△3,510
全社費用（注）	△108,280
四半期連結損益計算書の営業利益	91,300

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。